

福島医発第1153号（地）

平成27年7月21日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会

会長 松田 峻一良

（公 印 省 略）

千葉県におけるエボラ出血熱への感染があり得る患者の発生
及び検査結果（陰性）について

今月15日、成田空港において、西アフリカ滞在歴があり、到着時に発熱の症状を呈した患者が確認され、千葉県の医療機関に搬送されております。（添付資料1）

その後、当該患者の検体を国立感染症研究所（村山庁舎）において検査（エボラ出血熱の遺伝子検査（PCR））した結果、本日9時25分に「陰性」であることが判明した旨、別添のとおり日本医師会より通知が参りましたのでご連絡申し上げます。（添付資料2）

当該患者は、念のため引き続き入院し、健康監視を続けることとしています。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了解いただきますようよろしくお願い申し上げます。

なお、本情報は7月16日10時00分時点のものであることを申し添えます。

【患者の概要】

- ① 年 代：30 代
- ② 性 別：男性
- ③ 国 籍：ギニア
- ④ 滞在国：ギニアに滞在（7月13日まで）
- ⑤ 症 状：空港到着時に、38度7分の発熱、その他の症状なし。
ギニア出国時及び経由地の検疫では発熱なし。
機内での自覚症状なし。
- ⑥ 接触歴：本人からの報告によればエボラ出血熱患者との接触なし。
- ⑦ 他の感染症の罹患の有無：マラリア迅速検査 陰性
インフルエンザ迅速検査 陰性
- ⑧ 入院先医療機関の所在都道府県：千葉県

(地Ⅲ78F)

平成 27 年 7 月 16 日

都道府県医師会
感染症危機管理担当 殿

日本医師会感染症危機管理対策室長
小 森 貴

エボラ出血熱への感染があり得る患者の発生
及び検査結果（陰性）について

昨日、成田空港において、西アフリカ滞在歴があり、到着時に発熱の症状を呈した患者が確認され、千葉県の医療機関に搬送されました。（添付資料 1）

その後、当該患者の検体を国立感染症研究所（村山庁舎）において検査（エボラ出血熱の遺伝子検査（PCR））した結果、本日 9 時 25 分に「陰性」であることが判明いたしましたのでご連絡申し上げます。（添付資料 2）

当該患者は、念のため引き続き入院し、健康監視を続けることとしています。

つきましては、本件について管下郡市区医師会ならび貴会会員に周知いただきたく、ご高配のほどお願い申し上げます。

なお、本情報は 7 月 16 日 10 時 00 分時点のものであることを申し添えます。

【患者の概要】

- ① 年 代：30 代
- ② 性 別：男性
- ③ 国 籍：ギニア
- ④ 滞 在 国：ギニアに滞在（7 月 13 日まで）
- ⑤ 症 状：空港到着時に、38 度 7 分の発熱、その他の症状なし。
ギニア出国時及び経由地の検疫では発熱なし。
機内での自覚症状なし。
- ⑥ 接触歴：本人からの報告によればエボラ出血熱患者との接触なし。
- ⑦ 他の感染症の罹患の有無：マラリア迅速検査 陰性
インフルエンザ迅速検査 陰性
- ⑧ 入院先医療機関の所在都道府県：千葉県

（添付：厚生労働省プレスリリース資料）

平成 27 年 7 月 16 日

【照会先】

健康局結核感染症課

感染症情報管理室長 宮川 昭二(内線 2389)

課長補佐 中谷祐貴子(内線 2373)

(代表電話) 03(5253)1111

(直通電話) 03(3595)2257

報道関係者 各位

エボラ出血熱への感染があり得る患者の発生について

昨日、成田空港において、西アフリカ滞在歴があり、到着時に発熱の症状を呈した患者が確認されました。

エボラ出血熱への感染の有無を確認するため、患者は既に千葉県の医療機関に入院済みであり、患者の検体を国立感染症研究所(村山庁舎)に向けて搬送中です。

概要

- ①年代： 30 代
- ②性別： 男性
- ③国籍： ギニア
- ④滞在国： ギニアに滞在(7 月 13 日まで)
- ⑤症状： 空港到着時に、38 度 7 分の発熱、その他の症状なし。
なお、ギニア出国時及び経由地の検疫では、発熱はなかった。
機内での自覚症状なし。
- ⑥接触歴： 本人からの報告によればエボラ出血熱患者との接触はない。
- ⑦他の感染症の罹患の有無： マラリア迅速検査 陰性
インフルエンザ迅速検査 陰性
- ⑧入院先医療機関の所在都道府県： 千葉県

国民の皆様へのメッセージ

- 現時点では、まだ感染は確認されておらず、検査の結果、陰性となることも十分にあり得ます。
- エボラ出血熱は、発症段階で初めて感染力を持つとされています。体液の接触を除けば、通常、飛行機に同乗しただけで感染するものではありません。そのため、本患者が搭乗していた飛行機に同乗していた乗客の感染リスクは極めて低いと考えられます。
- 患者の検査結果が判明してから、健康状態等の調査が必要な同乗客に対しては、検疫所から連絡いたします。

平成 27 年 7 月 16 日

【照会先】

健康局結核感染症課

感染症情報管理室長 宮川 昭二(内線 2389)

課長補佐 中谷祐貴子(内線 2373)

(代表電話) 03(5253)1111

(直通電話) 03(3595)2257

報道関係者 各位

エボラ出血熱への感染があり得るとされた患者の検査結果 (陰性)について

ギニア滞在歴があり、成田空港到着時に発熱の症状を呈したことから、千葉県内の医療機関に入院された方(30 代男性)について、国立感染症研究所においてエボラ出血熱の遺伝子検査(PCR検査)を行ったところ、9時 25 分に陰性であるとの結果が得られましたので、お知らせします。

なお、この方については、念のため、引き続き入院していただき、健康監視を続けることとします。

本件は、エボラ出血熱の検査結果が陰性と判断されている事案でもあり、報道関係者の皆様におかれましては、患者の方のプライバシーの保護に十分御配慮いただきますよう、お願い申し上げます。